

えんど久子ら日本共産党など防衛省に要請

オスプレイと日米共同訓練にNO!

日本共産党大分県委員会などは、大分県内で初めてオスプレイを使用する12月7日からの日米共同訓練の中止を求め、12月5日に福岡市の九州防衛局に要請しました。

山国でオスプレイが低空飛行

真島省三前衆議院議員らと共に、えんど久子県議予定候補、美馬きょうこ市議予定候補も参加。

えんど久子は、オスプレイの騒音などへの不安を訴え質問。九州防衛局は「十文字原では射撃訓練に限定されている。オスプレイは12日は岩国から日出生台に来て築城に帰る、16日は岩国から日出生台に来て岩国に帰る。相当の高度で飛ぶので騒音は心配ない」などと説明。

山下魁さんは「熊本の矢野原で演習をした時には、オスプレイが中津市の山国を低い高度で飛んだ。普天間では市街地を飛ばないという合意のもとでも小学校の上をバンバン飛んでいる」と反論しました。

十文字原では夜9時まで

真島省三前衆議院議員は「合意が守られているのか、防衛省で監視すべきだ」などと主張しました。

九州防衛局は「日米共同訓練を毎年行うことは決まっている。場所は未定だ。日出生台・十文字原を否定できない。日出生台での訓練は協定書により夜8時までの演習だが、十文字原では夜9時までの予定だ」と話しました。



日本共産党大分県委員会と、日出生台での米軍演習に反対する大分県各界連絡会のメンバー。右から美馬きょうこ、えんど久子、真島省三前衆議院議員。福岡市の九州防衛局にて 2018.12.5.

市民全体への説明会を

この日の夕方には、別府市に申し入れました。

えんど久子らは「11月29日の内かまど公民館での住民説明会では、十文字原周辺の限定した地域への説明会だと言われ、仕方なく帰った人もいた。市民全体への説明会をしてほしい。共同訓練を恒常化させてはならない」と訴えました。

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
TEL0977-22-6576

No. 26
2018.12.13.